



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月5日

上場会社名 参天製薬株式会社
コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷内 樹生
問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-6321-7000

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	57,563	△2.7	11,655	△8.9	8,807	△8.9	8,872	△8.3	22.21	22.16
2020年3月期第1四半期	59,136	4.7	12,794	9.6	9,671	12.1	9,680	12.2	24.25	24.19

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	57,563	△2.7	8,016	△13.3	8,359	△7.1	6,124	△4.2	6,189	△3.3	8,734	260.4
2020年3月期第1四半期	59,136	4.7	9,246	△7.7	9,002	△4.8	6,390	△6.7	6,399	△6.6	2,423	△65.4

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.49	15.46	15.49	15.46
2020年3月期第1四半期	16.03	15.99	16.03	15.99

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
2021年3月期第1四半期	409,586	305,824	306,193	74.8	766.60					
2020年3月期	408,768	302,560	302,865	74.1	758.50					

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	13.00	-	14.00	27.00
2021年3月期 (予想)	-	14.00	-	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△2.7	52,000	4.0	38,700	7.8	97.67

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△2.7	35,000	4.4	34,000	5.9	23,000	5.9	58.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

上記の業績予想は、当社において新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の収束時期を地域別に仮定を置いて見積もったものであり、実際の業績等は状況により変動する可能性があります。今後、変動額が通期業績予想の修正をすべき水準となった場合には、速やかに開示します。IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	400,151,754株	2020年3月期	400,028,254株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	608,065株	2020年3月期	608,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	399,371,208株	2020年3月期1Q	399,095,566株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2020年3月期末 16,430株、2021年3月期1Q 16,430株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年8月5日（水）に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	8
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(重要な後発事象)	14
3. 連結参考資料	15
(1) 主要製品売上収益	15
(2) 開発状況	16
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費	17
(4) 主要通貨為替レート	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1（P4参照）

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	59,136	57,563	△2.7%
コア営業利益	12,794	11,655	△8.9%
コア四半期利益	9,671	8,807	△8.9%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	9,680	8,872	△8.3%

[売上収益]

前年同期と比べ2.7%減少し、576億円となりました。

主力の医療用医薬品事業では、中国、アジア地域において新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により前年同期と比べ減収となりました。日本、EMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）では継続的に売上伸長しており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の環境下でも堅調に推移しています。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	35,078	5,790	3,862	9,384	222	54,336
	4.4%	△14.1%	△11.5%	0.3%	6.9%	0.2%
一般用医薬品	1,975	—	67	—	—	2,043
	△45.7%	—	△11.2%	—	—	△45.0%
医療機器	645	—	—	182	—	827
	△11.5%	—	—	74.7%	△100.0%	△0.8%
その他	317	16	24	—	—	357
	0.5%	28.1%	64.4%	—	—	4.2%
合計	38,016	5,806	3,953	9,566	222	57,563
	△0.7%	△14.0%	△11.2%	1.2%	6.6%	△2.7%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国または地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べ4.4%増加し、351億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。なお、当第1四半期においては、「アイリーア硝子体内注射液※²(P4参照)」のプレフィルドシリンジ製剤である「アイリーア硝子体内注射用キット」を発売しました。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	24億円	(対前年同期増減率	△ 1.0%)
「タプコム配合点眼液」	7億円	(対前年同期増減率	+ 2.5%)
「コソプト配合点眼液」	20億円	(対前年同期増減率	+ 3.3%)
「エイベリス点眼液」	6億円	(対前年同期増減率	+106.6%)
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	30億円	(対前年同期増減率	△ 16.4%)
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液※ ³ (P4参照)」	30億円	(対前年同期増減率	+ 43.8%)
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液」	168億円	(対前年同期増減率	+ 10.9%)

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ14.1%減少し(為替影響を除いた成長率は△8.4%)、58億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・角結膜疾患治療剤領域			
「ヒアレイン点眼液」	23億円	(対前年同期増減率	△ 2.8%)
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	22億円	(対前年同期増減率	△ 27.1%)

◇アジア(中国除く)

円換算ベースで前年同期と比べ11.5%減少し(為替影響を除いた成長率は△7.0%)、39億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	5億円	(対前年同期増減率	△ 8.1%)
「タプコム配合点眼液」	1億円	(対前年同期増減率	+ 24.1%)
「コソプト配合点眼液」	10億円	(対前年同期増減率	+ 0.2%)
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	5億円	(対前年同期増減率	△ 41.4%)

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ0.3%増加し(為替影響を除いた成長率は+4.0%)、94億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	17億円	(対前年同期増減率	+ 2.8%)
「タプコム配合点眼液」	7億円	(対前年同期増減率	+ 22.4%)
「コソプト配合点眼液」	25億円	(対前年同期増減率	+ 6.0%)
「トルソプト点眼液」	7億円	(対前年同期増減率	△ 2.3%)
・角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis(アイケルビス)」	7億円	(対前年同期増減率	△ 0.1%)

<一般用医薬品>

前年同期と比べ45.0%減少し、20億円となりました。

「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ0.8%減少し、8億円となりました。

眼内レンズの「レンティス コンフォート」と「エタニティ」シリーズの普及促進活動に注力しています。

<その他>

その他の売上収益は4億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ6.3%減少し、328億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ3.1%減少し、156億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ9.0%減少し、56億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ8.9%減少し、117億円となりました。

※1 SantenグループではIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・ 製品に係る無形資産償却費
- ・ その他の収益
- ・ その他の費用
- ・ 金融収益
- ・ 金融費用
- ・ 販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

※3 アレジオンLX点眼液を含みます。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	59,136	57,563	△2.7%
営業利益	9,246	8,016	△13.3%
四半期利益	6,390	6,124	△4.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	6,399	6,189	△3.3%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

売上総利益、販売費及び一般管理費、研究開発費について、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ1.2%減少し、24億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.（アメリカ）から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、ならびに2016年のInnFocus, Inc.（アメリカ）買収に伴い取得した「DE-128（PRESERFLO MicroShunt）」に関する無形資産（2019年4月より償却開始）の償却によるものです。

その他の収益は、2億円となりました。

その他の費用は、14億円となりました。これは主に、InnFocus, Inc.（アメリカ）買収に伴う条件付対価の公正価値の変動によるものです。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前期と比べ13.3%減少し、80億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、5億円となりました。

金融費用は、2億円となりました。

法人所得税費用は、22億円となりました。グループ内の法人の利益構成比の変動等により、税負担率が、前年同期より減少しました。

これらにより、四半期利益は前年同期と比べ4.2%減少し、61億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ3.3%減少し、62億円となりました。売上収益に対するその比率は、10.8%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF₂α誘導体およびβ遮断剤の配合剤DE-111（STN10111、一般名：タフルプロスト/チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬DE-117（STN10117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2018年9月に第Ⅲ相試験を開始しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは、順次販売承認を申請しており、韓国で2019年12月に販売承認を取得しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（STN10126、一般名：sepetaprost）は、米国および日本で、後期第Ⅱ相試験を完了しています。

緑内障用デバイスDE-128は、米国で2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了しました。欧州では、2019年1月に発売しました。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請しています。

プロスタグランジンF₂α誘導体の乳化点眼剤DE-130A（STN10130、一般名：ラタノプロスト）は、欧州およびアジアで2019年4月に第Ⅲ相試験を開始しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

DE-109（STN10109、一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月にぶどう膜炎を対象とする追加の第Ⅲ相試験を開始しました。

<その他疾患領域>

DE-127（STN10127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、アジアで2020年4月に近視を対象とする第Ⅱ相試験を終了しました。日本では、2019年8月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を開始しました。

白内障手術後無水晶体眼に挿入する乱視用（トーリック）眼内レンズMD-16は、日本で2019年11月に製造販売承認を取得しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、既存開発コード（DE-XXX）および新開発コード（STNXXXXX）を併記しています。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、4,096億円となりました。現金及び現金同等物および営業債権及びその他の債権の減少などがあった一方、jCyte, Inc.（アメリカ）との細胞治療プログラムjCellのライセンス契約締結等に伴う無形資産および金融資産の増加などにより前期末と比べ8億円増加しました。

資本は、3,058億円となりました。その他の資本の構成要素および利益剰余金の増加などにより前期末と比べ33億円増加しました。

負債は、1,038億円となりました。繰延税金負債および営業債務及びその他の債務の増加などがあった一方、法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などにより前期末と比べ24億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ0.7ポイント増加し、74.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、74億円の収入（前年同期は、50億円の収入）となりました。これは法人所得税の支払いが61億円あったことなどの一方、四半期利益が61億円および営業債権及びその他の債権の減少が49億円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、106億円の支出（前年同期は、14億円の支出）となりました。これは主にjCyte, Inc.（アメリカ）との細胞治療プログラムjCellのライセンス契約締結等に伴う無形資産の取得による支出が70億円および投資の取得による支出が22億円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、60億円の支出（前年同期は、57億円の支出）となりました。これは配当金の支払いが55億円あったことなどによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ91億円減少し、823億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2020年5月8日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	59,136	57,563
売上原価	△24,120	△24,741
売上総利益	35,016	32,822
販売費及び一般管理費	△16,047	△15,551
研究開発費	△6,174	△5,616
製品に係る無形資産償却費	△2,477	△2,448
その他の収益	101	176
その他の費用	△1,172	△1,367
営業利益	9,246	8,016
金融収益	441	530
金融費用	△684	△187
税引前四半期利益	9,002	8,359
法人所得税費用	△2,612	△2,235
四半期利益	6,390	6,124
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	△909	2,752
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△3,058	△142
その他の包括利益	△3,967	2,610
四半期包括利益合計	2,423	8,734
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	6,399	6,189
非支配持分	△9	△65
四半期利益	6,390	6,124
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	2,509	8,798
非支配持分	△86	△64
四半期包括利益合計	2,423	8,734
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	16.03	15.49
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	15.99	15.46
<コアベース>		
売上収益	59,136	57,563
コア営業利益	12,794	11,655
コア四半期利益	9,671	8,807
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	24.25	22.21
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	24.19	22.16
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	9,680	8,872
非支配持分	△9	△65
コア四半期利益	9,671	8,807

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	35,601	35,735
無形資産	119,850	123,720
金融資産	30,848	37,000
繰延税金資産	2,100	2,297
その他の非流動資産	1,813	1,780
非流動資産合計	190,212	200,533
流動資産		
棚卸資産	35,282	38,663
営業債権及びその他の債権	86,999	82,174
その他の金融資産	452	542
その他の流動資産	4,392	5,328
現金及び現金同等物	91,430	82,346
流動資産合計	218,556	209,053
資産合計	408,768	409,586

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,366	8,411
資本剰余金	8,746	8,833
自己株式	△1,033	△1,033
利益剰余金	273,422	274,018
その他の資本の構成要素	13,364	15,963
親会社の所有者に帰属する持分合計	302,865	306,193
非支配持分	△305	△369
資本合計	302,560	305,824
負債		
非流動負債		
金融負債	27,592	28,575
退職給付に係る負債	1,738	1,987
引当金	570	579
繰延税金負債	7,228	8,788
その他の非流動負債	1,483	1,496
非流動負債合計	38,611	41,425
流動負債		
営業債務及びその他の債務	32,578	33,815
その他の金融負債	18,777	18,325
未払法人所得税等	6,848	2,826
引当金	633	718
その他の流動負債	8,761	6,653
流動負債合計	67,597	62,337
負債合計	106,208	103,762
資本及び負債合計	408,768	409,586

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2019年4月1日残高	8,252	8,661	△1,131	258,659	—	10,230
四半期包括利益						
四半期利益				6,399		
その他の包括利益						△909
四半期包括利益合計	—	—	—	6,399	—	△909
所有者との取引額						
新株の発行	31	31				
自己株式の取得			△0			
配当金				△5,189		
株式報酬取引		23				
その他				418		△418
所有者との取引額合計	31	54	△0	△4,771	—	△418
2019年6月30日残高	8,283	8,715	△1,131	260,287	—	8,904

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2019年4月1日残高	5,428	802	16,461	290,900	1,672	292,572
四半期包括利益						
四半期利益			—	6,399	△9	6,390
その他の包括利益	△2,981		△3,890	△3,890	△77	△3,967
四半期包括利益合計	△2,981	—	△3,890	2,509	△86	2,423
所有者との取引額						
新株の発行		△35	△35	28		28
自己株式の取得			—	△0		△0
配当金			—	△5,189		△5,189
株式報酬取引			—	23		23
その他			△418	—		—
所有者との取引額合計	—	△35	△452	△5,138	—	△5,138
2019年6月30日残高	2,447	768	12,118	288,271	1,586	289,857

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2020年4月1日残高	8,366	8,746	△1,033	273,422	—	11,150
四半期包括利益						
四半期利益				6,189		
その他の包括利益						2,752
四半期包括利益合計	—	—	—	6,189	—	2,752
所有者との取引額						
新株の発行	45	45				
配当金				△5,592		
株式報酬取引		43				
所有者との取引額合計	45	88	—	△5,592	—	—
2020年6月30日残高	8,411	8,833	△1,033	274,018	—	13,902

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2020年4月1日残高	1,529	686	13,364	302,865	△305	302,560
四半期包括利益						
四半期利益			—	6,189	△65	6,124
その他の包括利益	△143		2,609	2,609	1	2,610
四半期包括利益合計	△143	—	2,609	8,798	△64	8,734
所有者との取引額						
新株の発行		△10	△10	80		80
配当金			—	△5,592		△5,592
株式報酬取引			—	43		43
所有者との取引額合計	—	△10	△10	△5,470	—	△5,470
2020年6月30日残高	1,386	676	15,963	306,193	△369	305,824

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	6,390	6,124
減価償却費及び償却費	4,122	4,116
減損損失	—	114
金融収益及び金融費用(△は益)	△231	△242
法人所得税費用	2,612	2,235
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	1,841	4,923
棚卸資産の増減(△は増加)	1,361	△3,235
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△4,885	1,210
引当金及び退職給付に係る負債の増減(△は減少)	217	322
その他	△339	△2,262
小計	11,089	13,304
利息の受取額	24	23
配当金の受取額	258	243
利息の支払額	△59	△39
法人所得税の支払額	△6,313	△6,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,999	7,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	—	△2,202
投資の売却による収入	760	—
有形固定資産の取得による支出	△1,182	△1,330
無形資産の取得による支出	△924	△7,024
その他	△8	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,355	△10,564
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	113
配当金の支払額	△5,102	△5,520
リース負債の返済による支出	△669	△684
その他	28	80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,743	△6,012
現金及び現金同等物の増減額	△2,099	△9,130
現金及び現金同等物の期首残高	70,796	91,430
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△899	46
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,798	82,346

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位:百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2020年3月期				2021年3月期	
			第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	4,549	20.8%	15,181	1.0%	3,291	△27.7%
		日本	722	△19.6%	2,571	△19.0%	521	△27.8%
		中国	2,997	41.9%	9,509	7.3%	2,186	△27.1%
		アジア	448	33.5%	1,726	13.3%	386	△13.7%
		EMEA	384	△8.6%	1,375	△6.3%	197	△48.6%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	410	14.6%	1,472	1.9%	319	△22.1%
		日本	112	△17.6%	414	△14.0%	89	△20.6%
		中国	179	22.6%	585	△2.4%	149	△17.0%
		アジア	119	56.5%	473	30.0%	82	△31.4%
		EMEA	90	10.0%	316	1.9%	99	△10.0%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,356	17.4%	5,405	12.9%	1,529	12.7%
		日本	668	3.8%	2,521	△1.1%	685	2.5%
		アジア	98	49.5%	383	24.2%	122	24.1%
		EMEA	590	32.5%	2,501	29.6%	722	22.4%
		合計	4,662	1.0%	17,901	△0.6%	4,672	0.2%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,396	△0.7%	9,123	△4.5%	2,372	△1.0%
		日本	85	122.2%	395	73.5%	114	33.8%
		中国	502	3.7%	1,892	1.9%	461	△8.1%
		アジア	1,678	△0.0%	6,491	1.8%	1,725	2.8%
		EMEA	236	△11.9%	2,145	△4.3%	5,609	3.9%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,977	△28.4%	7,723	△13.4%	2,042	3.3%
		日本	1,047	11.7%	4,052	10.3%	1,050	0.2%
		アジア	2,374	△2.4%	9,270	△1.3%	2,516	6.0%
		EMEA	682	△13.4%	2,504	△12.9%	614	△9.9%
		合計	377	△18.2%	1,349	△18.0%	322	△14.7%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液) (*チモプトールXE点眼液を含む)	緑内障治療剤	合計	68	18.2%	226	2.2%	92	35.4%
		日本	236	△11.9%	929	△7.8%	200	△15.2%
		合計	1,159	0.4%	4,424	△3.5%	1,082	△6.7%
		日本	362	△9.0%	1,350	△8.4%	350	△3.2%
		アジア	117	16.5%	411	△1.0%	67	△42.7%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	EMEA	680	3.7%	2,663	△1.3%	664	△2.3%
		合計	285	—	1,629	278.1%	589	106.6%
		日本	285	—	1,629	278.1%	589	106.6%
		合計	2,120	△9.6%	24,916	28.1%	3,047	43.8%
		日本	2,120	△9.6%	24,916	28.1%	3,047	43.8%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液) (*アレジオンIX点眼液を含む)	抗アレルギー点眼剤	合計	808	△3.9%	2,996	△9.3%	650	△19.6%
		日本	305	△24.6%	1,272	△22.5%	242	△20.8%
		中国	381	19.7%	1,243	0.9%	325	△14.7%
		アジア	122	3.1%	482	11.9%	83	△31.9%
		EMEA	205	△1.5%	4,056	△0.5%	974	△2.6%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	1,000	△1.5%	4,056	△0.5%	974	△2.6%
		日本	647	△3.6%	2,501	△4.0%	616	△4.8%
		中国	148	△12.6%	704	△7.4%	189	27.9%
		アジア	205	17.6%	852	19.6%	169	△17.5%
		合計	589	△6.0%	2,241	△6.5%	870	47.8%
Oftan Catachrom (オプタンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	EMEA	589	△6.0%	2,241	△6.5%	870	47.8%
		合計	567	4.7%	2,672	24.0%	527	△7.0%
オパガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	日本	567	4.7%	2,672	24.0%	527	△7.0%
		合計	15,148	8.4%	60,138	7.1%	16,802	10.9%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリベルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	日本	15,148	8.4%	60,138	7.1%	16,802	10.9%
		合計	4,948	1.7%	17,609	△6.8%	4,523	△8.6%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	日本	2,139	△6.5%	7,849	△10.4%	1,815	△15.2%
		中国	2,417	21.7%	7,856	3.8%	2,349	△2.8%
		アジア	392	△33.7%	1,904	△26.0%	359	△8.4%
		合計	4,434	20.6%	15,970	3.9%	3,551	△19.9%
		日本	3,605	7.4%	14,257	2.3%	3,012	△16.4%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	中国	30	—	167	561.1%	71	132.3%
		アジア	799	147.9%	1,546	9.7%	468	△41.4%
		合計	920	27.2%	3,851	13.6%	939	2.1%
		アジア	171	107.7%	738	60.9%	191	11.8%
		EMEA	749	16.8%	3,113	6.2%	748	△0.1%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	715	18.3%	2,912	15.9%	672	△6.0%
		アジア	47	28.3%	265	57.7%	71	50.3%
		EMEA	500	△2.9%	2,092	5.2%	438	△12.3%
		米州	168	218.8%	555	56.3%	163	△2.8%
		合計	183	—	1,065	728.6%	215	17.4%
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	日本	183	—	1,065	728.6%	215	17.4%
		合計	3,713	5.6%	12,034	△15.4%	2,043	△45.0%
一般用医薬品		日本	3,637	5.3%	11,722	△15.8%	1,975	△45.7%
		アジア	76	25.5%	312	6.5%	67	△11.2%
		合計	3,713	5.6%	12,034	△15.4%	2,043	△45.0%

※主要製品売上収益予想については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により製品需要が不透明であることから公表を見送ります。第2四半期決算短信にて、主要製品売上収益予想を開示予定です。

（2）開発状況

2020年7月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	DE-109 (STN10109)	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア				2015年4月		
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／ チモロールマレイン酸塩	DE-111 (STN10111)	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オミデネパグ イソプロピル	DE-117 (STN10117)	緑内障・高眼圧症	宇部興産と 共同開発	米国						
				日本					2018年11月	
				アジア				2019年12月		
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2018年9月にフェーズ3試験を開始。日本で、2018年11月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、韓国で2019年12月に販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	DE-126 (STN10126)	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国		(フェーズ2b)				
				日本		(フェーズ2b)				
FP受容体およびEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国および日本で、フェーズ2b試験を完了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	DE-127 (STN10127)	近視	Singapore Health Services社、 南洋理工大学	日本		(フェーズ2/3)				
				アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ2/3試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売	
緑内障用デバイス	DE-128	緑内障	自社	米国					2020年6月		
				欧州						2019年1月	
				アジア					2020年3月		
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。米国で、2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了。欧州にて2019年1月に発売。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請。											

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	DE-130A (STN10130, Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州およびアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
眼内レンズ	MD-16	白内障	Oculentis社	日本					2019年11月	
白内障手術後無水晶体眼に挿入する、乱視用（トーリック）眼内レンズ。日本で、2019年11月に製造販売承認を取得。										

■2019年度第4四半期決算発表時（2020年5月8日）からの変更点

開発コード	変更点
DE-128	米国で、2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了。

開発コードの附番方法変更に伴い、既存開発コード（DE-XXX）および新開発コード（STNXXXX）を併記しています。

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	1,853	8,971	2,057	10,000

(注) 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	1,098	4,267	1,105	4,710
製造経費	566	2,144	607	2,310
販売管理費	372	1,462	339	1,720
研究開発費	160	661	159	680

(注) 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費および使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	2,477	9,898	2,448	9,700
メルク無形資産償却費	1,452	5,808	1,452	5,740
DE-128*無形資産償却費	705	2,798	691	2,830
アイケルビス無形資産償却費	174	684	168	710
その他	146	608	137	420

*DE-128 (PRESERFLO MicroShunt)

■研究開発費

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	6,174	23,341	5,616	23,000
対売上収益比	10.4%	9.7%	9.8%	9.8%

(4) 主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2020年3月期 第1四半期	2020年3月期	2021年3月期 第1四半期	2021年3月期 (予想)
USドル	109.86	108.81	107.46	110.00
ユーロ	123.06	120.80	118.69	120.00
中国元	16.14	15.64	15.13	15.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。